学校番号	313

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	生物基礎（数研出版）						
副教材等	三訂版リードLightノート生物基礎（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」小・中学校での理科の学習を終えて、人と自然について「遺伝子」、「恒常性」、「生態系」という３つの視点を見ると、どのように見えてくるのか？どのように生き、行動すれば人と自然を大切にし、健康な生活を送れるのか？この２つの問題を常に意識して、学び考え続けてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。観察，実験を通して生物や生命現象に対する畏敬の念を育む。
【学びに向かう力、人間性等】
多様性と共通性という２つの視点から、生物や生命現象を探求する方法や姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	身につけた生物や生物現象に関する知識・技能から、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しようとしている。	生物や生物現象に主体的に関わり、生命を尊重しつつ、自然環境を保全するための課題を自ら設定し、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の特徴	生物の多様性と共通性 生物とエネルギー	a:生物の共通性と多様性、エネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、化学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b:身につけた単元の知識・技能から問題を見いだし見通しをもって考察し、表現しようとする。 c:身につけた単元内容に関する事物・現象に進んで関わり、適宜振り返りを行いながら科学的に探究しようとする。	定期考査	定期考査 確認テスト	授業態度 提出物 発問評価
1学期 2学期	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とDNA 遺伝情報とタンパク質	a:遺伝情報とＤＮＡ、タンパク質合成の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、化学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b:身につけた単元の知識・技能から問題を見いだし見通しをもって考察し、表現しようとする。 c:身につけた単元内容に関する事物・現象に進んで関わり、適宜振り返りを行いながら科学的に探究しようとする。	定期考査	定期考査 確認テスト	授業態度 提出物 発問評価

		体内環境と情報伝達 免疫のはたらき	a:神経系と内分泌系による調節、情報伝達のしくみ、免疫の働きの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、化学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b:身につけた単元の知識・技能から問題を見いだし見通しをもって考察し、表現しようとする。 c:身につけた単元内容に関する事物・現象に進んで関わり、適宜振り返りを行いながら科学的に探究しようとする。	定期考査	定期考査 確認テスト	授業態度 提出物 発問評価
3学期	生物の多様性と生態系	植生と遷移 生態系と生物の多様性	a:植生と遷移、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、化学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b:身につけた単元の知識・技能から問題を見いだし見通しをもって考察し、表現しようとする。 c:身につけた単元内容に関する事物・現象に進んで関わり、適宜振り返りを行いながら科学的に探究しようとする。	定期考査	定期考査 確認テスト	授業態度 提出物 発問評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度